

元気の出る情報・交流誌

全国手をつなぐ
育成会連合会

手をつなぐ

2021
4月
[No.782]

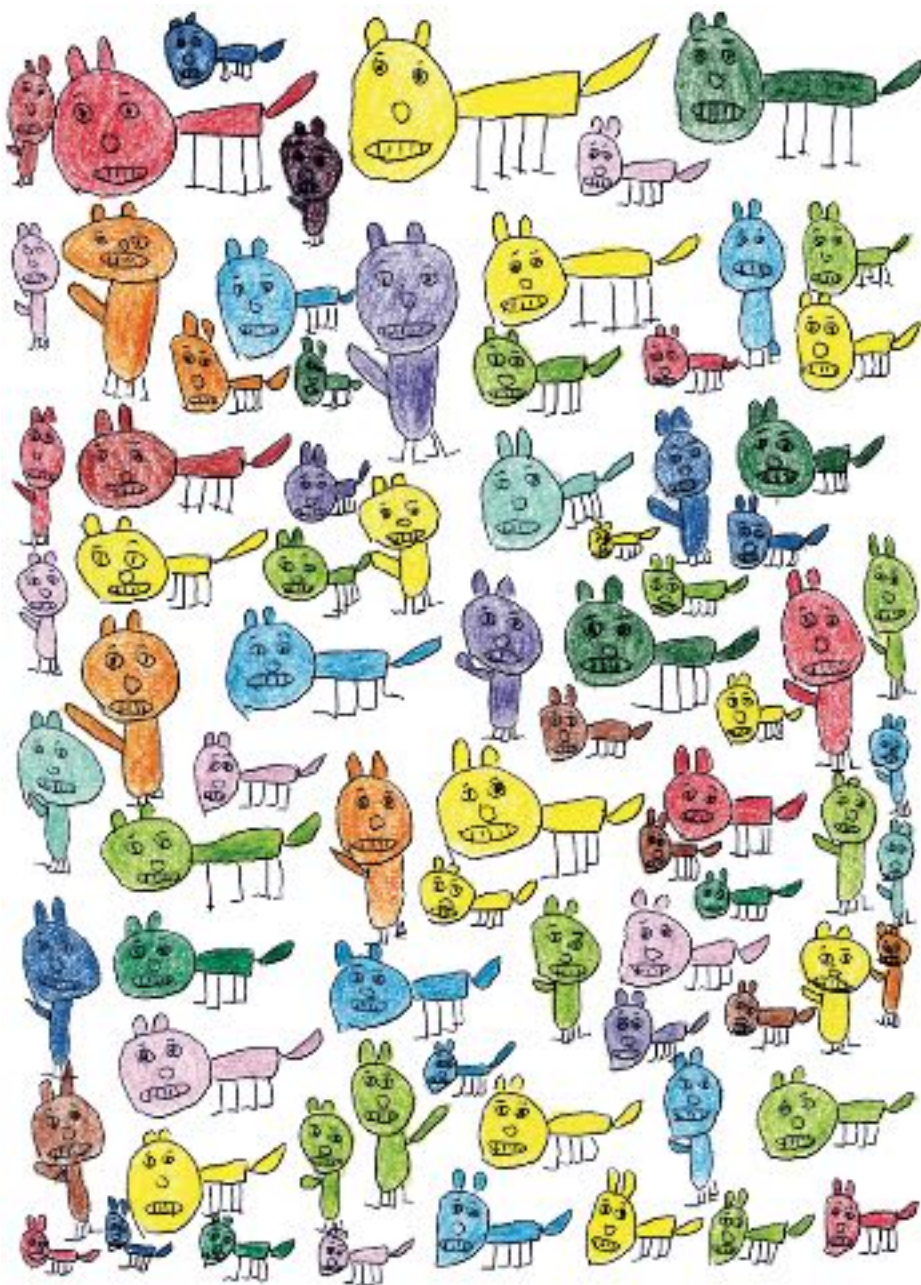
特集

応援します！

一人ひとりのスタート

今月の問題 雇用・労働と教育、障害福祉の連携強化を期待する

ひびき ナナトエリ・亀山聡 (漫画家)



ぼくの好きなこと

馬本 和郎 平

ぼくの好きなことは、香川昭之さんの「
すづいせ」をテレビで見ることです。

これは、少し前に善吾川さんに教えてもらって
東京まで昆虫をしに行きました。

ぼくの好きなスズメバチやクワガタや大きな
ゴキブリの標本も展示されました。

そして、ぼくはフタ活も大好きです。

今年の夏は、ソーシャルダンスを保ちながら、
ドライブインライブを楽しみました。



ぼくは、龍野由美子さんのうちを四回見て、生
 県八命応援しました。
 他にも映画を見に行くことが好きです。
 最近はお鬼威の刃や「魔女見羽白」を探
 して見に行きました。
 今は、コロナ感染拡大防止のために、来年は
 キャラクターショーに行ける様に、感染対策中
 をして出かけたいと思います。

「わたしたちも言いたい」ではみなさまからの^{たよ}お便りを^{ぼしゅう}募集しています（^{あてさき}宛先は44ページ）。
^{せいかつ}生活のこと、^{しごと}仕事のこと、^{くらし}暮らしのことなど^{かん}ふだん感じていることを^か書いて^{おく}お送りください。

家族のかたち 1

わたしたちも言いたい ぼくの好きなこと 馬本郷平 2

毎日すったもんだ [第52回] これはいいね! 4

特集 応援します! 一人ひとりのスタート⁶

子どもたちの「心の根っこ」を太く 光實有紀 10

小さな一歩を重ねていきましょう 大澤紘子 12

学校に力をもらいながら一步一步進んでいこう 花木 敦 14

「自分で選ぶ」を支えていく 山崎達彦 16

精神的な安定のもと能力を発揮できるように 岡本孝伸 18

不安を想像し、得意を見つける 猪狩千弥 20

地域移行支援で相談支援専門員が大切にしていること 小池 誠 22

スタートを見送る家族のおもい 24

今月の問題

雇用・労働と教育、障害福祉の連携強化を期待する 26

ひびき

夫婦で共に歩む、充実した「試行錯誤の日々」 ナナトエリ・亀山 聡 30

ニュースのじかん 33

くらしを支える福祉の制度 第9回

知的障害のある人の住まい その7 34

今月のオススメ 36

ことばの浜辺

情報に急かされる現代で 池内陽彦 37

あなたの街の育成会

実践研究事業「超参加型音楽活動MLAP」の取り組み 福岡県・下山いわ子 38

中央の動き

第105回社会保障審議会障害者部会が開催されました（その1） 40

みんなで応援しよう! 東京2020パラリンピック 第11回

ピンチをチャンスに、リスタート! 星野恭子 45

枝元なほみのしあわせごはん いち、にっ、さん! [lesson60]

春の元気な卵を食べよう! 46

心の声、アートのかたち

清水ちはる 48

表紙絵作者のプロフィール

■澤原大貴（さわはら・だいき）28歳／山下嗣人（やました・ひでと）37歳 ■三重県鳥羽市 社会福祉法人あしたば福祉会 あしたば作業所 ■タイトル 犬 ■ひとこと 家の犬を思い出して描きました。（澤原）／カラフルになるように塗りました。（山下）

応援します! 一人ひとりの スタート

進学、就職、引っ越し…。

たくさんの人が新しい生活をスタートする4月。

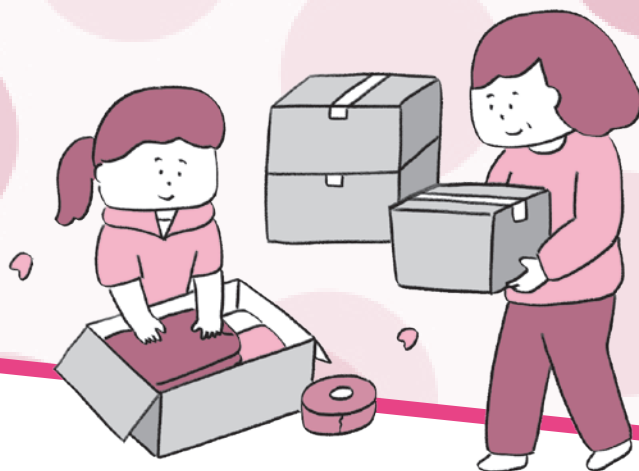
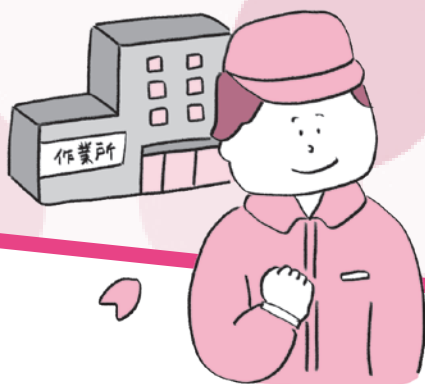
知的障害のある人にとっては、新生活への期待とともに
新しい環境へのサポートが大切な時期でもあります。

今回は、「スタート」を迎える知的障害のある人やその家族、
さまざまな立場からそれを支える人たちの声や、
実際の支援について取り上げます。

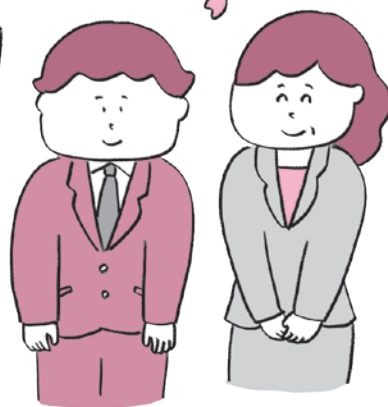
よさこいなど、
好きなことも続けます!

この春、高等部を卒業してB型作業所に
就労する息子。今までは学校に守られ
「サポート三昧^{さんまい}」でしたが、これから先は、い
ろいろな選択肢の中から選んだ道を歩んでい
きます。考え方、関わり方で人はぐんと成長
します。これからも充実した日々が送れるよ
う、笑顔の息子であるように、地域やいろ
いろな方々とのつながりをより大切にしてい
きたいです。(兵庫 森本典子)





仕事して貯金したら、
外国に行ってもいいのかな？



親子で一緒に
リスタート！

高 校生活で楽しかったことは、いくつかあります。一つ目は、入学式です。数多くの教諭やPTAの前で、それなりにきんちょうしました。二つ目は、強歩です。30キロ、50キロ、70キロのコースのうち、30キロを歩きました。達成感は忘れがたいです。三つ目は、学校祭です。クラスみんなで準備したり、合唱の練習したりなど、いろんな努力や苦労がありました。

高校を卒業してからは、就労移行支援に行こうと思います。そこで、仕事のやり方を教えてもらって、お給料をもらえたらパソコンを買ったり、自分の健康のためにお金を使おうと思っています。(北海道 桜庭蒼太)

重 度知的障害のある18歳の次男。2年前から利用している児童入所施設もこの春で卒業…のはずが、コロナ禍で進路の話もなかなか進まず。さすがに焦りはじめたころ、進路担当の先生から連絡が。「ご近所に建設中のグループホーム、日中支援型だそうです」。わが子にはいつまでもそばにいてほしいと、「家に戻るのもやむなし」という展開を心のどこかで期待していた自分ですが、家の近くで生活を送れるのであれば千載一遇のチャンス！入居を目指して大きく舵を切ること。そのとき、ふと気づきました。この春の大きな卒業とは、自分の「子育て」であることに。(神奈川 渡部三奈子)